

平成25年3月期 決算説明会

株式会社N F Kホールディングス

大阪証券取引所（JASDAQ）

証券コード：6494

平成25年6月

目

次

平成25年3月期 決算概要

平成26年3月期 業績の見通し

< 参考資料 >

- ・ 1 3 中期経営計画
- ・ TOPICS

< 会社案内 >

平成25年3月期 決算概要

平成25年3月期決算概要 決算総括

Point 1

大型案件の継続的な受注

Point 2

海外売上高の伸張 (20% 28%)

Point 3

原価低減・経費節約による増益

増収増益

黒字体質の
確立

株主還元の実現

- ・平成25年3月期も前期に引き続き増収増益を達成
- ・2期連続の当期純利益を計上して安定した黒字化へ
- ・1株当たり1円の復配を実施

平成25年3月期決算概要 連結損益計算書

(単位：千円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	2,910,293	3,121,602	211,309	7.3%
売上総利益	838,369	901,430	63,061	7.5%
販売費および 一般管理費	635,582	608,542	27,040	4.3%
営業利益	202,787	292,888	90,101	44.4%
経常利益	209,243	298,411	89,168	42.6%
税金等調整前 当期純利益	201,731	311,343	109,612	54.3%
当期純利益	191,468	332,242	140,774	73.5%
当期包括利益	226,699	331,681	104,982	46.3%
EBITDA	226,140	309,307	83,167	36.8%

EBITDA=(経常利益298,411+支払利息1,113+減価償却費
9,783+のれん償却費0)

平成25年3月期決算概要 売上高増加の内容 案件規模別

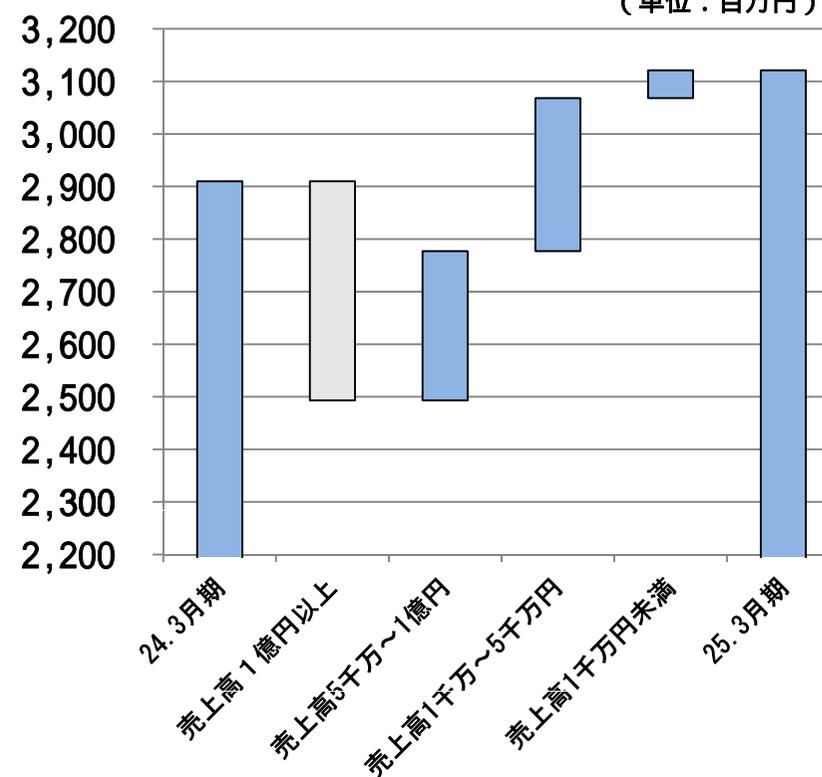
(単位：千円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
売上高	2,910,293	3,121,602	211,309	7.3

(単位：千円)

	売上高
平成24年3月期実績	2,910,293
売上高1億円以上の案件増減分	417,215
売上高5千万円以上の案件増減分	284,008
売上高1千万円以上の案件増減分	291,589
売上高1千万円未満の案件増減分	52,929
平成25年3月期実績	3,121,602

(単位：百万円)



- ・ 中規模案件が大幅増
事業基盤の安定化

平成25年3月期決算概要 売上高増加の内容 部門別

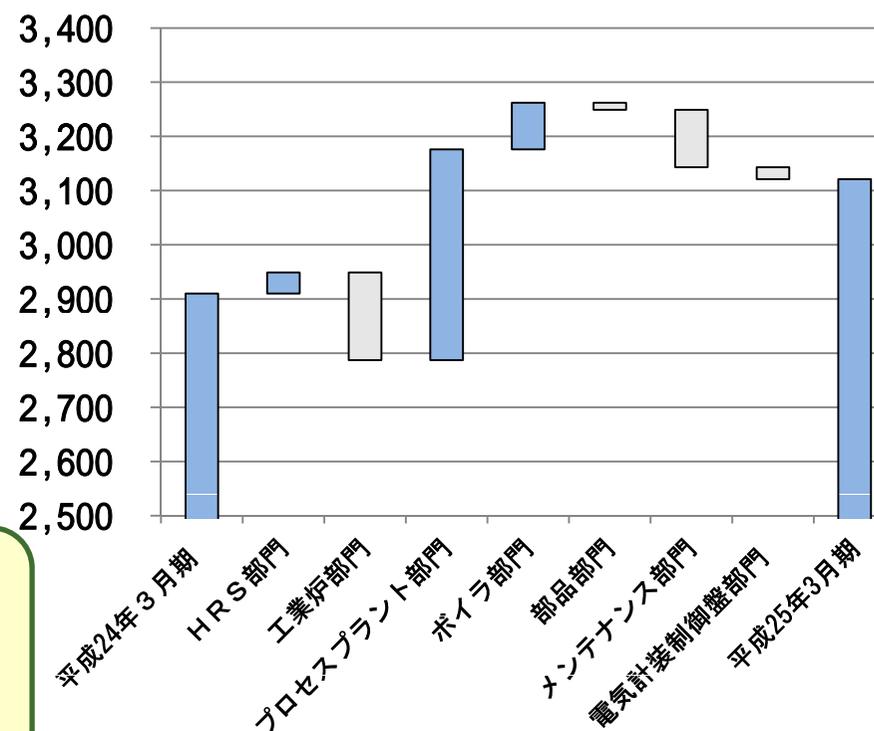
(単位：千円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
売上高	2,910,293	3,121,602	211,309	7.3

(単位：千円)

	売上高増減
平成24年3月期実績	2,910,293
HR S部門	39,168
工業炉部門	162,115
プロセスプラント部門	389,647
ボイラ部門	86,818
部品部門	13,167
メンテナンス部門	105,919
電気計装制御盤部門	22,815
平成25年3月期実績	3,121,602

(単位：百万円)



・プロセスプラント部門が牽引

平成25年3月期決算概要 営業利益増加の内容

(単位：千円)

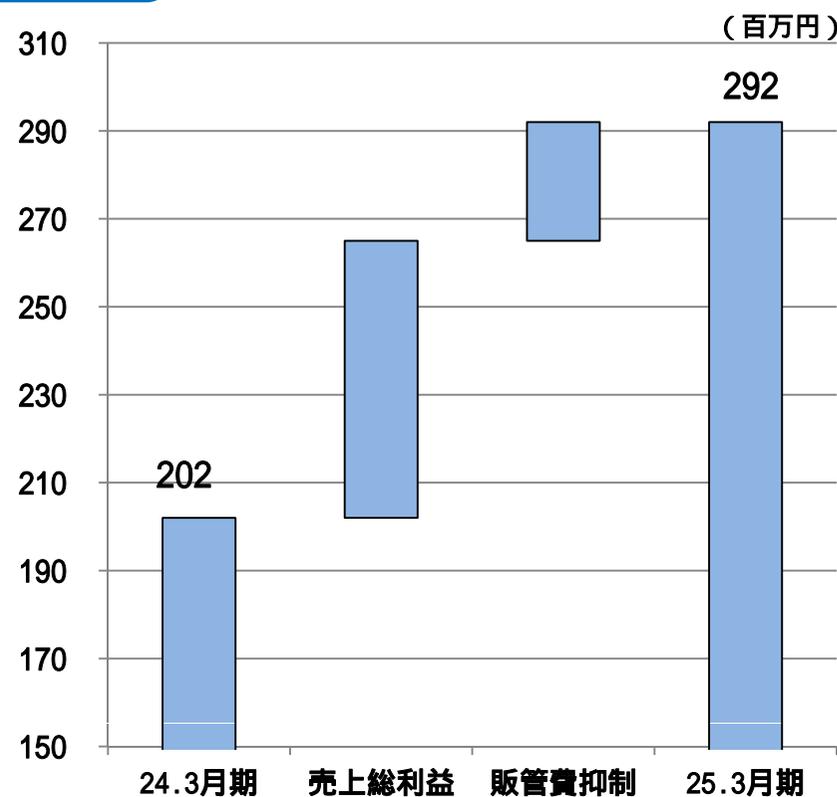
	平成24年3月期	平成25年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
営業利益	202,787	292,888	90,101	44.4

(単位：千円)

	営業利益
平成24年3月期実績	202,787
売上総利益の増加分	63,061
販売費および一般管理費抑制分	27,040
平成25年3月期実績	292,888

営業利益の増加理由

- ・ 売上総利益の増加
 売上げ増
 徹底的な原価低減
- ・ 販売費および一般管理費の抑制
 売上げ増にも拘わらず、経費減の実現



平成25年3月期決算概要 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成24年3月期末	平成25年3月期末	増 減
流動資産	2,684,498	3,092,672	408,174
固定資産	1,016,519	980,899	35,620
資産合計	3,701,017	4,073,572	372,555
流動負債	683,970	752,482	68,512
固定負債	492,496	464,856	27,640
負債合計	1,176,466	1,217,339	40,873
資本金	2,131,532	2,131,532	-
資本剰余金	40,280	40,280	-
利益剰余金	66,069	266,172	332,241
自己株式	195	195	-
株主資本合計	2,105,547	2,437,789	332,242
その他の包括利益累計額合計	419,004	418,443	561
純資産合計	2,524,551	2,856,232	331,681
負債純資産合計	3,701,017	4,073,572	372,555

【流動資産】	() 内は前期末比増減
現金・預金	1,598百万円 (+ 225百万円)
受取手形・売掛金	1,201百万円 (+ 313百万円)
仕掛品	85百万円 (181百万円)
繰延税金資産	39百万円 (+ 39百万円)
【固定資産】	
土地・建物等	784百万円 (9百万円)
投資有価証券	106百万円 (5百万円)
保険積立金	30百万円 (27百万円)
【流動負債】	
支払手形・買掛金	350百万円 (+ 18百万円)
短期借入金	19百万円 (3百万円)
前受金	192百万円 (+ 53百万円)
未払税	29百万円 (21百万円)
【固定負債】	
長期借入金	- (11百万円)
再評価に係る繰延税金負債	228百万円 (-)
退職給付引当金	217百万円 (12百万円)

財務指標

	平成24年 期末	平成25年 期末
自己資本比率	68.2%	70.1%
有利子負債	111百万	131百万円

平成25年3月期決算概要 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	平成24年3月期	平成25年3月期	前年同期比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	78,463	195,067	116,604
投資活動による キャッシュ・フロー	6,190	59,215	65,405
財務活動による キャッシュ・フロー	74,110	18,550	92,660
現金及び現金同等物に 係る換算差額	366	62	304
現金及び現金同等物の 増減額	146,016	235,670	-
現金及び現金同等物の 期首残高	1,179,767	1,325,784	146,017
現金及び現金同等物の 期末残高	1,325,784	1,561,454	235,670

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前当期純利益	311百万円 (+)
仕入債務増加	29百万円 (+)
売上債権の増加	325百万円 (-)
たな卸資産の減少	173百万円 (+)
前受金の増加	53百万円 (+)
減価償却費	16百万円 (+)
保険解約益	20百万円 (-)
法人税等の支払額	15百万円 (-)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

定期預金の減少	25百万円 (+)
有形及び固定資産取得	20百万円 (-)
子会社売却による収入	5百万円 (+)
保険積立金解約収入	53百万円 (+)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の減少	7百万円 (-)
長期借入金返済	11百万円 (-)

平成25年3月期決算概要 部門別売上高

(単位：千円)

	平成24年3月期		平成25年3月期		前年比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
工業炉燃焼装置製造業	2,907,248	99.9%	3,118,861	99.9%	211,613	7.3%
H R S 部門	440,433	15.1%	479,601	15.4%	39,168	8.9%
工業炉部門	707,794	24.3%	545,679	17.5%	162,115	23.0%
プロセスプラント部門	659,938	22.7%	1,049,585	33.6%	389,647	59.0%
ボイラ部門	386,210	13.3%	473,028	15.2%	86,818	22.5%
部品部門	300,298	10.3%	287,131	9.2%	13,167	4.4%
メンテナンス部門	375,588	12.9%	269,669	8.6%	105,919	28.2%
電気計装制御盤部門	36,983	1.3%	14,168	0.5%	22,815	61.7%
その他の事業	3,044	0.1%	2,741	0.1%	303	9.9%
合 計	2,910,288	100%	3,121,602	100%	211,309	7.3%

平成25年3月期決算概要 部門別受注状況

(単位：千円)

	平成24年3月期		平成25年3月期		前年比増減額	
	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残
工業炉燃焼装置製造業	3,231,193	1,325,565	2,919,567	1,124,509	311,626	201,056
H R S 部門	492,847	122,780	451,874	95,053	40,973	27,727
工業炉部門	298,936	98,078	486,960	39,359	188,024	58,719
プロセスプラント部門	1,145,561	716,974	1,136,519	803,908	9,042	86,934
ボイラ部門	483,874	205,045	395,398	127,415	88,476	77,630
部品部門	329,566	65,886	259,361	38,116	70,205	27,770
メンテナンス部門	426,763	100,871	189,455	20,658	237,308	80,213
電気計装制御盤部門	52,692	14,977	-	-	52,692	14,977
その他の事業	-	-	-	-	-	-
合 計	3,231,193	1,325,565	2,919,567	1,124,509	311,626	201,056

平成26年3月期 業績の見通し

平成26年3月期業績の見通し 業績予想（連結）

単位（百万円）

科 目	平成25年3月期		平成26年3月期	
	第2四半期 累計（実績）	通期 （実績）	第2四半期 累計（予想）	通期（予想）
売上高	1,579	3,121	1,500	3,300
営業利益	162	292	110	250
経常利益	166	298	112	253
税前当期純利益	182	311	112	253
当期純利益	167	332	85	205
1株当たり当期純利益	5.45円	10.82円	2.77円	6.67円

3期連続の当期純利益計上で、さらなる企業価値向上へ

< 参考資料 >

< 参考資料 > 1 3 中期経営計画

1 3 中計経営基本方針 平成23年8月に策定

- (1) 燃焼機器関連事業の強化
- (2) 先端ニーズに対応する研究開発体制の構築
- (3) 黒字体質の確立
- (4) コンプライアンス、コーポレート・ガバナンス重視の徹底



国内基盤固め

海外売上比率35%

(単位：百万円)

	平成23年 3月期実績	平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期	
		中計	実績	中計	実績	中計	業績予想
売上高	2,068	3,306	2,910	4,000	3,121	5,000	3,300
経常利益	267	91	209	247	298	439	253
当期純利益	231	83	191	236	332	428	205
純資産	2,217	2,300	2,524	2,537	2,856	2,965	3,061
1株利益(円)	7.81	2.80	6.45	7.96	10.82	14.44	6.67
1株純資産(円)	74.77	77.57	82.20	85.56	93.00	100	99.66

< 参考資料 > 1 3 中期経営計画 アクションプラン

マーケティング & グローバル展開の実行

世界的視野で
売れる市場を選択

キーワード：成長市場

売れる商品を提供

キーワード：環境・省エネ

新製品投入
オリンピア工業との業務提携
その他製品開発

国内基盤固め

海外売上比率
35%へ

< 参考資料 > 1 3 中期経営計画 ~ 収益拡大戦略 ~

1 . オリンピア工業グループとの事業提携活用

(1) 事業提携先であるオリンピア工業グループの製造能力を活用

製造委託先の集約による管理コスト低減効果

オリンピア工業の持つ資源の活用

- ・優れた生産技術力

- ・最新、大型の製造設備の活用による製造委託費低減効果

両社共同での製造工程開発

(既定プロセスからのフィードバックによる設計改良など)

2 . 技術開発力の強化

(1) 日本ファーマス燃烧技術研究所設立

平成25年5月末にオリンピア工業株式会社西都工場敷地内に日本ファーマス燃烧技術研究所が竣工。各種大型バーナを対象にした燃烧試験システム（燃烧試験装置 + 測定機器 + 解析システム）を設置しており、必要に応じたタイムリーな燃烧試験が可能となり、迅速かつコストミニマムな技術開発を実現します。



< 参考資料 > 1 3 中期経営計画 ~ 収益拡大戦略 ~

3 . 技術開発による売上伸長

(1)国内既存設備の更新需要キャッチアップとアジア市場開拓

大型ボイラ用高性能バーナ製品の改良開発（水管ボイラ用新型ULX）

- ・ 小型で安定的な燃焼性能と低NOx、低COを実現した高い環境性能
- ・ 大手ガス会社と協力して開発
 - 国内外でのシェア拡大のための大きな戦力
- ・ 中国、台湾等成長市場でのシェア拡大
- ・ 韓国のライセンサーへ新規バーナの技術供与

水管ボイラ

新型キルンバーナ開発

- ・ 高性能セメント焼成用キルンバーナの開発完了
- ・ 革新的な火炎制御性能、燃焼効率、低公害性を実現
 - 成長を続ける新興国市場での新規顧客獲得
 - 国内外既存顧客への海外メーカーによる攻勢に対抗



キルンバーナ

< 参考資料 >

1 3 中期経営計画 ~ 収益拡大戦略 ~

石油加熱炉用超低NOxバーナ

- ・ 海外製油所向けバーナ市場での競争力強化
- ・ 既存顧客への競合他社攻勢を排除し交換需要に対応
- ・ 国内シェア巻き返しとアジア、中東でのシェア拡大
- ・ シェア拡大によりメンテ・部品交換ベースを拡大



(2) 国内外新規市場開拓

超高温水蒸気によるバイオマスガス化技術活用製品

NEDOの新エネルギーベンチャー技術革新事業において、

「超高温水蒸気を用いたバイオマスの高効率ガス化技術によるコージェネシステム
 実用化」が実用化研究開発段階である「フェーズC」に認定され助成対象に。
 採算性において未だ成功例が稀有なバイオマスエネルギー利用技術を、
 独自技術採用により採算性のある小型装置として完成。



NEDO: 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

< 参考資料 > 平成25年3月期 ~ TOPICS ~**【 廃ガス、廃液焼却炉(インシネレータ) 】**

マレーシアLNG社（マレーシア国営石油会社ペトロナス社子会社）より、約3.5億円の大型受注。平成24年10月に納入。
（平成23年10月17日開示）

**【 加熱炉（空気加熱炉） 】**

（平成25年1月17日に開示）

海外プラント向けに国内大手エンジニアリング会社様より約6億円の大型受注。過去の納入実績などが高く評価された。平成26年1月頃納入予定。



【会社案内】

1. 会社概要

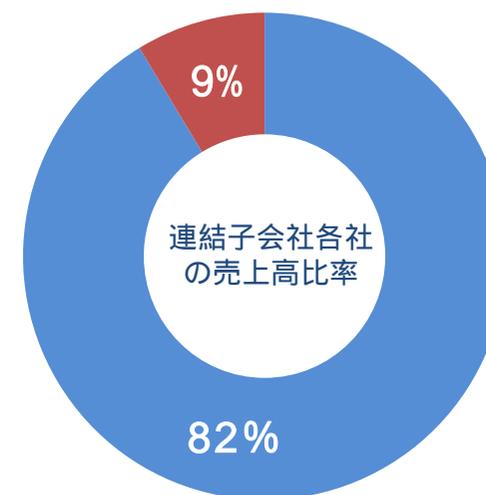
(1) 会社概要

商号	株式会社N F Kホールディングス	事業内容	燃焼装置関連事業
本社	横浜市鶴見区尻手2丁目1番53号	事業所	横浜市鶴見区 / 大阪事務所 / 豊田事務所 / 静岡工場 /
代表者	代表取締役社長 関口 陽介	連結子会社	2社
設立	1950年4月12日	持分法適用関係会社	1社
資本金	2,131百万円 (平成25年3月末現在)		
売上高	3,121百万円 (平成25年3月期連結)		
従業員	95名 (平成25年3月末現在・連結)		

子会社含む

(2) 企業集団の構成

会社名	事業内容	売上高
日本ファーンエス株式会社	燃焼関連装置製造販売	2,835百万円
株式会社ファーンエスE S	燃焼関連装置メンテナンス	269百万円



■ 日本ファーンエス ■ ファーンエスE S

(売上高：平成25年3月期、連結消去後)

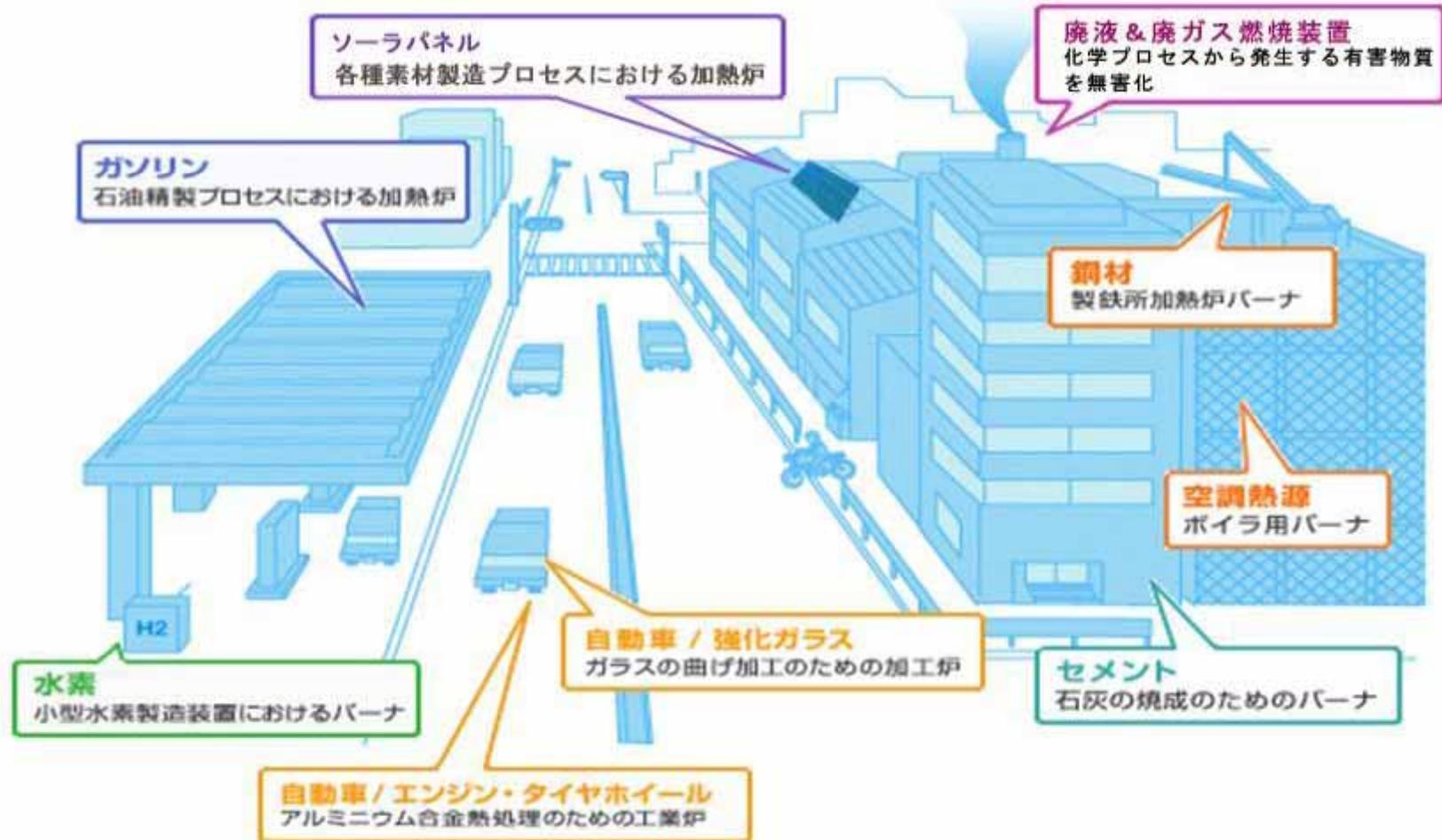
2 . 当社の企業理念

- ・ 燃焼技術を企業経営の基礎とする
- ・ 燃焼関連の最先端技術を社会に提供する
- ・ 地球環境の保全と循環型社会の実現に貢献する
- ・ 全てのステークホルダーの利益に貢献する
- ・ 上記に向けて絶え間ない努力とチャレンジを継続する

3 . 沿革

昭和25年04月	<u>日本火熱材料株式会社 設立</u>
昭和26年06月	日本ファーネス工業株式会社に商号変更
昭和28年09月	蒲田工場（機械工場）設置
昭和37年08月	横浜市鶴見区に本社事務所建設
昭和38年05月	<u>日本証券業協会に株式を店頭登録</u>
昭和38年06月	鶴見工場設置
昭和38年09月	蒲田工場を廃止、機械工場を鶴見に集約
昭和45年05月	日本ファーネス製造株式会社を設立
昭和50年04月	鶴見にプラントビル増設
平成11年06月	鶴見工場売却
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
平成18年09月	株式会社光電機製作所を子会社化
平成18年10月	株式会社N F Kファイナンスを統合し商号を株式会社N F Kホールディングスに変更。工業炉燃焼装置製造業を会社分割により新設会社日本ファーネス株式会社（現・連結子会社）に移転
平成20年10月	株式会社ファーネスE S（現・連結子会社）を設立
平成22年01月	日本ファーネス製造株式会社の全事業を連結子会社日本ファーネス株式会社へ譲渡
平成24年07月	株式会社光電機製作所の全株式を譲渡

4. 当社と社会の関わり



5 . 当社の事業内容



1 . プラントエンジニアリング事業

- ・ 産業機械関連
- ・ 石油関連
- ・ 環境関連



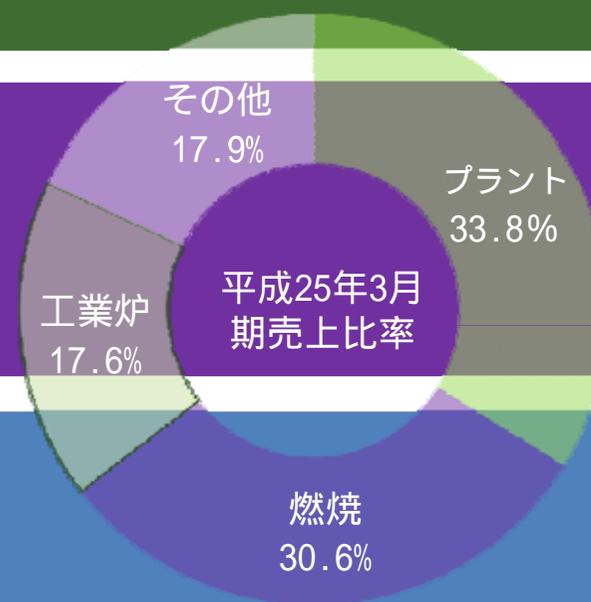
2 . 燃焼機事業

- ・ 金属加熱関連
- ・ ボイラ関連



3 . 工業炉事業

- ・ 自動車関連
- ・ 金属加工炉関連



5 . 当社の事業内容 プラントエンジニアリング事業

ロータリーキルン燃焼状態



特殊熱風発生炉(高压型)



直火式熱風発生炉



ロータリーキルンバーナ



空気加熱炉



HRS - UXバーナ



硫黄回収装置



廃液 & 廃ガス燃焼装置



産業機械関連

- 【主な製品群】
ロータリーキルン・
バーナ
熱風炉
- 【主な販売先】
鉄鋼関連
セメント

石油関連

- 【主な製品群】
空気加熱炉用バーナ
プロセスヒーター用
バーナ
- 【主な販売先】
石油精製企業

環境関連

- 【主な製品群】
HRS-UXバーナ
インシネレーター
小型加熱炉
- 【主な販売先】
化学関連企業

5 . 当社の事業内容 プラントエンジニアリング事業主力製品



【廃液 & 廃ガス燃焼装置】

製品特徴

化学プロセスから発生する廃ガス、廃液を焼却し無害化。完全に焼却させるための滞留時間やNOxの発生を抑制させる混合方法など、多くのノウハウを活用。

主な販売先

化学メーカー

価格帯

5000万円 ~ 3億

5 . 当社の事業内容 燃焼機事業

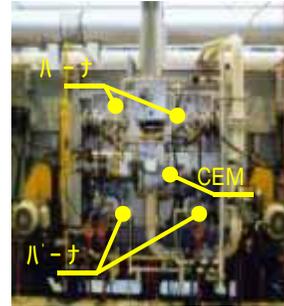
水素バーナ



ULN型低NOxバーナ



メッキ設備用 HRSラジアントチューブバーナ



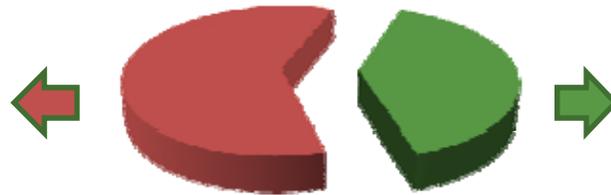
連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



ボイラ用廃熱回収器



ガラス製熱交換器



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



ボイラ関連

【主な製品群】
 水管ボイラ用バーナ
 水素バーナ
 多種燃料バーナ

【主な販売先】
 大手ボイラメーカー

金属加熱炉関連

【主な製品群】
 鉄鋼加熱用リジェネバーナ
 ラジアントチューブバーナ

【主な販売先】
 熱処理業界
 鉄鋼業界

5 . 当社の事業内容 燃烧機事業主力製品



【リジェネレイティブバーナ】 (商品名：HRS)

製品特徴

限界排熱回収、低NO_x、
炉温均一化性能が優れている

主な販売先 鉄鋼関連

価格帯

300～500万円

5 . 当社の事業内容 工業炉事業

バスケットレス多段回転炉



2階建AL鋳物T6熱処理炉



自動車用ガラス曲加工炉



高張力鋼板連続加熱炉



バッチ式熱処理炉(直火式)



バッチ式熱処理炉(R T式)



多目的合金鋼バッチ炉



自動車関連

【主な製品群】
バスケットレス回転炉
ガラス曲げ加工炉

【主な販売先】
大手自動車メーカー
自動車部品製造メーカー

鉄・非鉄金属熱処理関連

【主な製品群】
鉄・非鉄金属熱処理炉
熱処理用ラジアント
チューブバーナ

【主な販売先】
金属熱処理メーカー
窯業関連メーカー

5 . 当社の事業内容 工業炉事業主力製品



【バスケットレス回転炉】

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器 『経済産業大臣賞』受賞

製品特徴

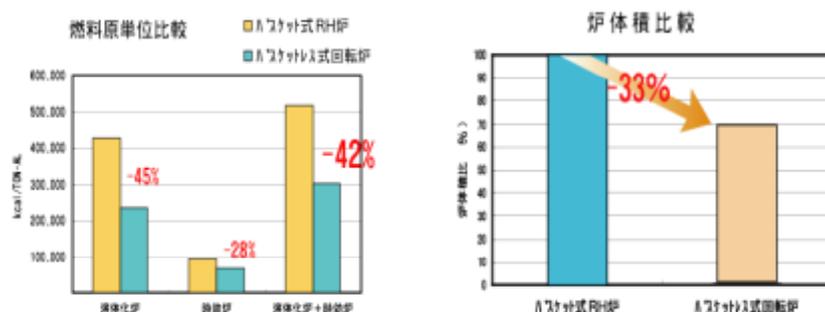
バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現

主な販売先

大手自動車各社

価格帯

8000万円 ~ 2億円



6 . 当社の強み

卓越した技術力

カスタムメイド

長年にわたり培った製品信用力

優良な顧客基盤

ファブレスで柔軟な経営

7. 業績推移

売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



当期(四半期)純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期(四半期)純利益

(単位:円)



■ 第2四半期 ■ 通期

7. 業績推移

純資産

(単位:百万円)



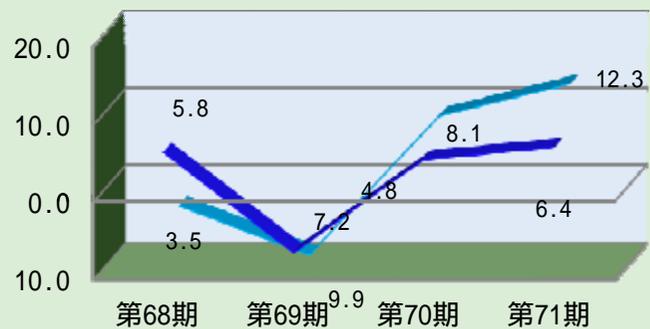
総資産

(単位:百万円)



ROE

(単位:%)



(注)次の通りROEを算出しております。
 $ROE = (1株当たり四半期純利益) / (1株当たり平均純資産) \times 100$

■ 第2四半期 ■ 通期

本資料に関するお問い合わせ

株式会社N F Kホールディングス I R企画室

TEL : 045 - 575 - 8000

注意事項 本資料に記載されている計画・戦略・見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性があります。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。

